

臨床微生物・感染症学

ナンバリング:N3-S3-B19

責任者・コーディネーター	看護専門基礎講座 一ノ渡 学 講師		
担当講座・学科(分野)	看護専門基礎講座、物理学科		
対象学年	3・4	区分/単位数	講義/1単位
期間	後期		

・学修方針(講義概要等)

感染症の制御を理解することは、看護師にとって非常に重要である。臨床微生物・感染症学では、1年次に学修した感染免疫学を基に病院内にて検出される微生物の人体に及ぼす影響の特性を理解し、病因となる微生物の特徴について学ぶ。また、感染源と成り得る患者と感受性宿主が同一空間に存在する医療施設で従事する看護師として、医療従事者媒介感染を防止するための知識を修得する。さらに、感染症に関する看護職としての役割について理解する。

・教育成果(アウトカム)

病院内における微生物の特徴的な症状を学修することで、感染症について体系的に理解することができる。また、抗菌薬適正使用や滅菌・消毒法におけるupdateを学修することで臨床判断能力の基礎を理解することができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。

・到達目標(SBO)

1. 看護師として感染制御に関わる役割について説明できる。
2. 薬剤耐性菌などの出現防止のための抗菌薬適正使用について説明できる。
3. 院内感染防止策としての消毒・滅菌法について説明できる。
4. 性感染症防止および対策について説明できる。
5. 研究調査に用いる検定について説明できる。

・授業日程

【講義】

会場：西1-A講義室

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
7/30 木 2限	【授業内容】 看護師として感染制御における役割 講義・ディスカッション ・感染症対策に関する看護師の役割について理解し説明できる 【関連するSBO】 1 【事前学修:90分】 1年次に学修した感染免疫学および基礎看護学の感染防止について復習し、1年次との認識の違いについて纏める 【事後学修:120分】 講義内容と事前学修の内容を精査して最終日の討論資料を作成する	看護専門基礎講座 一ノ渡 学 講師
7/31 金 2限	【授業内容】 抗菌薬適正使用に基づいた化学療法 講義・ディスカッション ・PK-PD理論に基づいた化学療法について説明できる ・抗菌薬や抗ウイルス薬の作用機序について説明できる 【関連するSBO】 1、2 【事前学修:90分】 1年次に学修した感染免疫学、特に「化学療法」の講義について復習し、1年次との認識の違いについて纏める 【事後学修:120分】 講義内容と事前学修の内容を精査して最終日の討論資料を作成する	看護専門基礎講座 一ノ渡 学 講師
7/31 金 3限	【授業内容】 免疫疾患およびアレルギーに関する化学療法 講義・ディスカッション ・免疫疾患やアレルギーに関わる化学療法について説明できる 【関連するSBO】 1、2 【事前学修:90分】 1年次に学修した感染免疫学、特に「アレルギー」の講義について復習し、1年次との認識の違いについて纏める 【事後学修:120分】 講義内容と事前学修の内容を精査して最終日の討論資料を作成する	看護専門基礎講座 一ノ渡 学 講師
8/3 月 1限	【授業内容】 院内における消毒・滅菌法のupdate 講義・ディスカッション ・消毒法および滅菌法の使用基準や実際に起こりうる有害事象に関する対策について説明できる 【関連するSBO】 1、2、3 【事前学修:90分】 1年次に学修した感染免疫学、特に「消毒・滅菌法」の講義について復習し、1年次との認識の違いについて纏める 【事後学修:120分】 講義内容と事前学修の内容を精査して最終日の討論資料を作成する	看護専門基礎講座 一ノ渡 学 講師

8/4 火 1限	<p>【授業内容】性感染症と垂直感染 講義・ディスカッション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性感染症に関わる病原体について説明できる ・分娩時における感染リスクおよび垂直感染予防について説明できる <p>【関連するSBO】1、2、4</p> <p>【事前学修:90分】1年次に学修した感染免疫学、特に「性感染症に関与する病原体および感染経路」について復習し、1年次との認識の違いについて纏める</p> <p>【事後学修:120分】講義内容と事前学修の内容を精査して最終日の討論資料を作成する</p>	看護専門基礎講座 一ノ渡 学 講師
8/5 水 2限	<p>【授業内容】研究調査に用いる検定 講義・演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究調査に用いる検定法について理解し、その方法について説明できる ・有意差検定、棄却検定について理解できる <p>Microsoft excel を使用できるPCを持参して演習課題を遂行する</p> <p>【関連するSBO】5</p> <p>【事前学修:90分】1年次に学修したデータサイエンスについて復習し、1年次との認識の違いについて纏める</p> <p>【事後学修:120分】講義内容と事前学修の内容を精査して復習する</p>	物理学科 小松 真 講師
8/6 木 1限	<p>【授業内容】看護師ができる感染制御① グループワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの講義を基に看護師ができる感染制御について学生間で討論し纏めることができる <p>【関連するSBO】1、2、3、4、5</p> <p>【事前学修:120分】討論のために前日までの講義における事後学修内容を纏める</p> <p>【事後学修:120分】討論結果内容を精査しレポートの材料を纏める</p>	看護専門基礎講座 一ノ渡 学 講師
8/6 木 2限	<p>【授業内容】看護師ができる感染制御② グループワーク・ディスカッション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ショートグループで討論した内容についてプレゼンテーションすることができる ・他のグループの発表内容に関して討論することができる <p>【関連するSBO】1、2、3、4、5</p> <p>【事前学修:120分】討論やプレゼンテーションのために前日までの講義における事後学修内容を纏める</p> <p>【事後学修:120分】自グループおよび他グループの発表内容を精査しレポートの材料を纏める</p>	看護専門基礎講座 一ノ渡 学 講師

・教科書・参考書等

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	わかる！身につく！病原体・感染・免疫 改訂4版	藤本秀士 他	南山堂	2026
参	病気がみえる vol.6 免疫・膠原病・感染症 第2版	医療情報科学研究所 編	メディックメディア	2018

・成績評価方法

【総括的評価】講義内容を踏まえた課題レポート70%、講義内グループワーク30%により評価する。

【形式的評価】講義開講1ヶ月前よりWebClassを開講し、事前学修をレポート形式で提出して学生の習熟度について確認する。

DP	SBO	小テスト	定期試験	課題	GW	実技	その他	合計
3~4	1~5			70	30			100
合計		0	0	70	30	0	0	100

〈備考〉

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

本講義の事前・事後学修については、WebClassを活用して適宜対応する。事前学修については前述しているが、事後学修に関してもWebClassを用いてレポート形式で内容を提出して学修の成果を確認する。レポートの提出期限は講義最終日から3週間を目途にする(提出期限の決定は最終講義日に周知する)。判定後に学生側からのfeedbackに対応する(WebClass使用)。

【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】

当該科目に関連する実務経験の有無 無

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影